

# 令和7年度全国学力・学習状況調査を受けて 泉佐野市立新池中学校

【教育目標】確かな学力と思いやりの心を持ち、社会に貢献できる生徒の育成

【中期的努力目標】◆誰一人とり残さない学校 ◆生徒が主体の学校 ◆確かな学びを育む学校

本校は今年度より大阪府教育庁スクール・エンパワーメント推進事業「確かな学びを育む学校づくり推進校」として、学校風土の向上を基盤とした、すべての子どもが「わかった・できた・考えた」を実感できる授業づくりにとりくみ、誰一人とり残さない魅力ある学校をめざしています。

◆上記の教育目標を達成するための本年度のとりくみ

- 良い授業・良い学習のための基盤となる学校風土の向上に努めます。
- すべての生徒が「わかった・できた・考えた」を実感できる、魅力ある授業をめざします。
- デジタル機器の「良き使い手」になるためのデジタルシティズンシップ教育にとりくんでいます。
- 佐野台小学校・中央小学校と小中合同ビブリオバトルを実施しています。

## 教科の結果より

【無解答率でわかる課題】※数値に関しては、本校の無解答率/全国の無解答率を表しています。

- ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるか(43.8/28.1)
- ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるか(41.1/24.9)
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるか(41.8/20.2)
- ・科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうか(16.2/9.9)

生徒質問より	本校の回答率	全国の回答率
ICT 機器を使って情報を整理することができると思うか	50.3	63.3
ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作成することができると思うか	63.5	76.6
1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	58.7	70.6
理科の授業は得意か	73.0	50.7

※回答率は、肯定的回答を表しています。

## ★つきたい力「情報活用能力」

さまざまな情報を目的に応じて、整理・分析し、自分の考えをまとめる

【具体的な取り組み】 情報を整理・分析する場面において、目的に応じた思考ツールを積極的に活用する等、情報活用能力の育成を意識した授業を教科横断的に展開する。

## ★強み「授業への興味・意欲」

授業に主体的に取り組み、授業での学びを日常生活に活かそうとする態度が養われている。

【具体的な取り組み】 子どもたちが「わかった・できた」を実感できる授業を継続する。  
さらに深く「考えた」を実感できるような工夫を教員間で共有する。

これまでのとりくみ(P・D)

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

これからのとりくみ(A)